科目ナンバリング							
授業科目名 <英訳>	ジェンダー論 Gender Studies			担当者所属 職名・氏名	文学研究科　教授　　落合　恵美子		
群	キャリア形成科目群	分野(分類)	その他キャリア形成		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	月3	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

現代日本社会に生きる女性や男性は、その性別（ジェンダー）ゆえに、どのような問題に直面しているのだろうか。その現実に多面的に光を当てることから出発し、その淵源を探り出してゆくことをめざす。本講義では、まず日本の「伝統的」ジェンダー秩序をアジアの文化的多様性の中に位置付ける。次にその歴史的変容をジェンダー史研究の成果に基づいて跡付ける。最後に、現在のヨーロッパ、北米、アジア諸国との国際比較により、現代日本のジェンダーを広い視野に位置づけ、他の社会と共通する点と現代日本独自の点を切り分ける論理を見つけ、課題解決の方向性を考えたい。

適宜ゲストスピーカーをお招きし、さまざまな研究分野においてジェンダーが開くパースペクティブ、日本および世界の他の地域のジェンダーの状況や課題についてお話をうかがう予定。

[到達目標]

現代日本のジェンダーを広い視野に位置づけて理解し、課題解決の方法について自ら考える力を養う。

[授業計画と内容]

（1）現代日本社会に生きる女性や男性の現実　　3回
（2）日本のジェンダー秩序：アジアの文化的多様性の中において　2回
（3）ジェンダーの歴史的変容　　3回
（4）制度とジェンダー：ヨーロッパ、北米、アジア諸国との国際比較　3回

＊ゲストスピーカー　3回
さまざまな研究分野においてジェンダーが開くパースペクティブ
日本および世界の他の地域のジェンダーの状況や課題

＊試験日　１回
＊フィードバック　１回

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

試験50パーセント、平常点（出席状況・小レポート）50%として評価する。

[教科書]

落合恵美子 『21世紀家族へ』（有斐閣）

ジェンダー論(2)へ続く↓↓↓

ジェンダー論(2)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

講義時間中に指示する参考書・資料などを各自が学習する。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]